

様式第2号（第4条関係）

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業	経常事務事業	建設事務事業
--------	--------	--------

● 第5次行政改革大綱第1次アクションプランとの関連	
☐ 有	
☒ 無	

1 ■事務事業の概要

1－1 事務事業の名称	観光ルート整備事業									
1－2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	産業振興課	係	商工振興係	評価票作成者	観光・消費生活担当係長 兼 子公司		
1－3 総合計画における施策の体系	①節	都市基盤・産業振興			③基本施策		観光		コード	3－3－4
		「いきいきとした賑わいと活力あふれるまちづくり」			④単位施策(中)		観光施設の整備		コード	3－3－4－3
	②項	産業振興			⑤単位施策(小)		観光ルートの整備		コード	3－3－4－3－2
1－4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	市内外の観光客		意図（対象を事務事業によってどのような状態にするのか）		市内の史跡、文化財等を結ぶ観光ルートを創出し、豊明を訪れた観光客の利便を図る。				
1－5 事務事業の内容	市内の名勝、史跡観光ルートを創出し、観光マップを作成する。ルート決定に当たっては、協議会（仮称）を設置して検討していく。									

2 ■事務事業実施の状況

2－1 事務事業の実施における基本認識		事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み			社会状況等の事務事業がおかれる環境把握			市民ニーズの認識				
	平成18年度	桶狭間古戦場周辺散策ルートを検討した。			史跡観光ルートを作成し、周辺情報も入れたマップを作成する必要がある。			モデルコースと周辺情報を取り入れたマップの作成は要望が高いと思われる。				
	平成19年度	県が推進する尾張地域観光モデルコースの策定に参加した。			〃			〃				
	平成20年度											
	平成21年度											
	平成22年度											
	平成23年度											
	平成24年度											
	平成25年度											
	平成26年度											
平成27年度												
2－2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名				前期目標値(単位)		後期目標値(単位)		指標の説明			
	観光ルート利用者数（人）				1,500（人）		1,500（人）		観光マップの配布数から推計する。			
2－3 成果指標に係る活動実績とコストの推移（アウトプット分析）	活動実績 a（人）	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	直接事業費 b（千円）	0	0									
	人件費 c（千円）	102	102									
	合計コスト d（b＋c）（千円）	102	102									
	単位コスト d／a（千円）	1人当たり－	1人当たり－	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	

アウトプット実績（活動数値）の補足説明	→ 人件費：2人×2日×8h×3,200円＝102,400円
---------------------	--------------------------------

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2－4 成果指標に 対応する実績と達 成度の推移	指標対応実 績（単位）	0（人）	0（人）								
	後期目標値 に対する達 成度（％）	0（％）	0（％）								

3 ■事務事業の自己評価結果

3－1 評価結果 (アウトカム自己分 析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	単年度 担当課評価	A	A								

- 4段階評価結果

A：上位目的である施策に貢献しているので継続する
B：事務事業の実施手法や環境（予算的・人的）に改善が必要
C：縮小等、事務事業としての見直しが必要
D：事務事業の廃止が相当
- 判断の基準

①必要性（必要な事務事業であるか）
②公共性（公が実施する意味があるか）
③妥当性（ニーズに対して投入が適正か）
④効率性（結果に至る活動に無駄はないか）
⑤有効性（活動の結果が上位の目的に貢献しているか）
⑥市民満足度（事務事業が対象にしている市民を満足させているか）

		今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
3－2 評価の内容	平成18年度	マップのコース作りの中に興味ある周辺情報を盛り込むことが必要となる。	コース作りと併せて、案内板等の整備について市観光協会と協議しながら検討を行う。	市内のよく知られた観光資源ばかりではなく、新たな洗い出しから改めて行う必要性を感じる。
	平成19年度	〃	〃	新たな観光PRとして観光スポットに近い公共施設巡回バスのバス停案内を簡単な観光案内も兼ねて車内アナウンスで流すようにした。
	平成20年度			
	平成21年度			
	平成22年度			
	平成23年度			
	平成24年度			
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

4 ■事務事業の総合評価結果

		結果	審査会による改善方向の指示
4－1 総合評価の 結果	平成18年度	B	事業実績がないので、具体的な事務事業を検討する必要がある。
	平成19年度	B	市民アイデア参画やウェブ公開等手法を検討すること。
	平成20年度		
	平成21年度		
	平成22年度		
	平成23年度		
	平成24年度		
	平成25年度		
	平成26年度		
	平成27年度		